



平成29年
酉年

飼育員の榎本愛美さん(写真右)は、親クジャクが卵を温めることを放棄したクジャクの兄弟を、代わりに育ててきました。クジャクが立派な羽を広げる、春から初夏のころに、美しい姿をご覧ください。

問合せ あらかわ遊園 ☎(3893)6003

年頭にあたって



荒川区長
特別区長会会長
にしかわ たいていろう
西川 太一郎

新年あけましておめでとうござい
ます。区民の皆様におかれましては、健
やかに新年をお迎えのこととお慶び申
上げます。

いよいよ、平成29年3月、荒川2丁
目に「ゆいの森あらかわ」が開館しま
す。中央図書館、区出身の作家・吉村
昭氏の記念文学館、子どもひろばを融
合させた、「人と人」「本と人」「地域
と人」を結ぶ、今までにない新しい空
間で、ぜひ、豊かな時間をお過ごし
ください。

さて、早いもので、私が区長に就任
してから12年が経過しました。この間
に、「失われた20年」と言われる日本
経済の長引く低迷、世代間・地域間の
経済格差の拡大、急速に進む少子高齢
化、東日本大震災をはじめとした自然
災害等、区民生活に影響を与える多く
の出来事がありました。このような中
でも、私は住民に最も身近な自治体の
長として、区民の皆様の笑顔の一つで
も増やすためのさまざまな取り組みを
進めて参りました。

現在、その取り組みをさらに推進す
るため、例えば、2200人を超す保
育定員の拡大、児童虐待防止対策・支
援体制の強化を目指した児童相談所の
設置準備、永久水利施設等の防災設備
の整備、治安ナンバワンのまちづく
りの維持等、革新的・先進的な施策を
進めています。

12年前、18万人台だった区の人口
が、今では21万3千人を超え、多くの
方に荒川区を選び住んでいただしてい
ることは、区政に対する高い評価と信
頼の結果であると、大変嬉しく思っ
ております。私は、これらの評価に甘ん
じることなく、これからも引き続き、
小さな努力を、一つ一つ地道に誠実に
積み重ね、区民の幸せの実現に向け、
全力で取り組んで参ります。

結びに、本年が区民の皆様にとっ
て、素晴らしい一年となりますよう、
心からお祈りし、年頭のあいさつと
いたします。

新春対談

幸福を分かち合うまち 幸福実感都市あらかわを目指して

平成29年の新春区長対談は、東京大学名誉教授・神野直彦氏と西川区長が、荒川区が他の自治体に先駆けて進めてきた「区民の幸福実感の向上」について、基礎自治体としての区が果たしていく役割について語り合いました。

「荒川区に住んでよかった」 と思えるまちづくりを

司会 平成28年11月に、区長として4期目（13年目）をスタートされた西川区長は、「区民の幸福実感」について、どのような思いをお持ちでしょうか。

区長 「治安がとてもよい」とか「子育てがしやすい」というふうに、年代によって異なるさまざまなご要望に、可能な限り高いレベルの行政サービスでお応えする、それが私たちの基本的な役割だと思っています。

区民の幸福実感の向上に取り組むきっかけは、東京大学名誉教授の月尾嘉男先生から、ブータン王国の国民総幸福量についてご教授いただいたことです。ブータンでは、人と人とのつながりや思いやりなどを提唱しており、これを日本の社会に適用できたらと考え、**荒川区民総幸福度**^{*1}に取り組んで参りました。「荒川区に住んでよかった」と思っただけでなく、区民の皆さんの幸せの原点になるという思いで、今年もより一層取り組んで参ります。

神野氏 幸福というのは、人間が生きていくうえでの究極の目的ですね。人間には、何かを所有したいという「所有欲求」と、人間と人間とが調和したいという「存在欲求」の2つの欲求があると言われています。所有欲求が充足されると、私たちは豊かさを実感でき、触れ合いたいとか愛し合いたいという存在欲求が充足されると、私たちは幸福を実感するんです。

今までは、存在欲求を犠牲にして、物の豊かさを求めて所有欲求を満たそうとしてきた社会だったと言っているのだと思います。ところが、国民の世論調査でも、心の豊かさの方が物の豊かさよりも重要という考え方が、増えているんです。



区長 幸福には分かち合いと助け合いが重要ですが、犯罪や交通事故が多くては、なかなか幸せを感じることは難しいと思います。荒川区は都内でも犯罪が少なく、治安がよいまちとされています。これを維持していくには、区民の皆さんにご理解をいただかなければなりません。地域社会を担っていただいている方の意見を真摯に受け止め、真剣に取り組んでいく姿勢が大事だと思っています。

また、荒川区では、区民の幸福実感の向上のために、特に子育て施策に力を入れてきました。待機児童対策のため、公園内に保育所を建設するのもその一つです。これは、**国家戦略特区**^{*2}という手法を国にお願いして、内閣総理大臣から日本で初めて認可をいただき行っているもので、公園の中に保育園をつくっています。また、児童相談所の都から区への移管にも取り組んでいます。

神野氏 新しい試みをやろうとすると、日本の場合にはさまざまな規制や、既存の法律などがあり、簡単ではありません。西川区長は、なるべく住民の身近なところで意思決定ができるように、住民に最も身近な自治体である区に権限を移してもらうなど、手続き上の努力を着実に進めながらやられている。そして、さまざまな住民が、それぞれのよさを失わないようにしながら一つにまとめているということに心を砕かれていると思うんです。そういうことを背景にしながら、次の荒

川区を担っていく人々が、お互いに学び合っていくことで、「自分たちは生まれも育ちも違うけれども同じ仲間なんだ」と仲間意識を養うような形で、政策を進められていると思います。それは防災や防犯の際の重要な安全装置にもなります。安全というのは物理的な手段によってカバーできるものですが、安心というのは、自分が困ったときに誰かが助けにきてくれる、つまり、人と人とのつながりが大切になってきますよね。

区長 防災のお話が出ましたが、区の中学校防災部では、中学生が消防団の皆さんから指導を受けながら、川から水を取り、立派に放水訓練を行っています。東日本大震災を経験した釜石市の中学生と意見交換会をするなど、いつくるかわからない災害に備えて、自主的に運営してくれています。こういったことが、先ほど神野先生がおっしゃった安全・安心につながっていくのだと思います。

「幸せリーグ」の設立

区長 平成25年に、ほかの自治体とも連携して幸せを追求しようということで、**幸せリーグ**^{*3}を設立しました。この幸せリーグは、当初52の基礎自治体の連合体として発足しましたが、現在はおよそ100もの自治体が入っています。特別区長会における全国連携プロジェクトとともに、地方と東京がともに持続的に発展できる関係を目指しています。

神野氏 幸せリーグの意義は、歴史的に非常に重要だと思います。幸福度によって政治を運営する動きは、フランスやイギリスなど世界的に行われているのですが、ほかの国の場合、政府が首頭をとって下部の行政組織に落とすというやり方で、ほとんど跡が残っていません。

西川区長の発想は、最も身近な公共空間である地方自治体で幸福づくりをやっていく試



みで、私はこちらのほうが地に足がついた、着実な動きができると思います。それと同時に、志を同じくするような地方自治体に声をかけて、全国的な組織づくりを始めたことは、お互いに交流しながら高め合っていくことや、相互に協力し合って進めていくという意味でも、人間の未来にとって非常に重要なことなのではないかと思います。

区長 幸せリーグの一番の価値は、トップがないということです。私は、名前だけは会長ですが、極めてフラットな運営をしています。荒川区が首頭をとってこれだけの人を集めたのではなく、荒川区と同じ思いを持っている人たちがこれだけいるということは、われわれの区政の方向性が間違っていないという自信になりました。

区政は区民を 幸せにするシステム

神野氏 西川区長は、区民のためということを重視して区政を運営されていると同時に、区民を信じているんですね。地域力という概念も区長はつくられていますが、これは住民の力なんです。住民の個人の力と結集力が地域力であり、それが荒川区にはあるということを前提としたうえで、それをより伸ばしていくとされていると思います。荒川区の商店街に行くと、会話の量がすごく多いんです



東京大学名誉教授 神野直彦氏

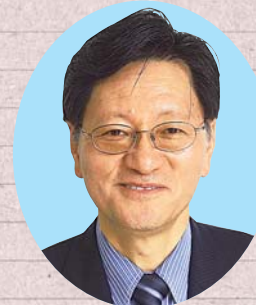
プロフィール

神野 直彦（じんの・なおひこ）

埼玉県さいたま市在住。

昭和44年東京大学経済学部卒業。昭和53年同大学大学院経済学研究科修士課程を修了し、同大学経済学部教授、同大学大学院経済学研究科教授を経て、現在、東京大学名誉教授。平成20年10月～28年1月、国の地方財政審議会会長を務める。専攻は、財政学・地方財政論。

主な著書は、『脱「格差社会」への戦略』『「分かち合い」の経済学』『「人間国家」への改革』等。平成21年に紫綬褒章を受章。



ね。これも地域力のひとつの表れであり、問題解決のための最も重要な力だと思います。住民の方にも誇りを持って、幸福実感の向上を目指す区政に参加していただければと思います。

区長 今日は、私たちが運営している区政の基本的な精神・思いを、神野先生に太鼓判を押しいただき、大変うれしく思います。

アメリカ合衆国のリンカーン大統領は、「government of the people, by the people, for the people」と述べましたが、この「区民の区民による区民のための区政」という言葉と、荒川区のドメイン（事業領域）である「区政は区民を幸せにするシステム」を職員一同が心におき、しっかりした区政運営にまい進していきたいと思っています。

本年もよろしくお願いいたします。

×モ

※1 荒川区民総幸福度（Gross Arakawa Happiness : GAH）

幸福実感の度合いを測る指標を作成し、アンケート調査による測定と結果の分析により、区民の幸福実感が向上するような区政運営につなげる取り組み。公益財団法人荒川区自治総合研究所が研究テーマとして取り組み、区に提言を行っている。

※2 国家戦略特区

産業の国際競争力の強化や、国際的な経済活動の拠点の形成を促進する観点から、規制改革等の施策を集中的に推進する、国が定めた区域。今回、荒川区が国から認定を受けた特区は、都市公園法で認められていない都市公園内への保育所の設置を地域限定で認めるもの。

※3 幸せリーグ

「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合」の通称。住民の幸福の追求という共通の使命のもと、志を同じくする基礎自治体が相互に学び合うことを通じて、誰もが幸福を実感できるあたたかい地域社会を築いていくことを目的に、平成25年6月5日に設立。設立当初から西川区長が会長を務めている。

▲対談は終始和やかな雰囲気で行われました（右は司会のケーブルテレビ・櫻井アナウンサー）



お知らせ

休館のお知らせ

内館内清掃、設備点検
◆生涯学習センター・教育センター
日1月15日(日) ※15日の利用受け付け分は、1月14日(土)に受け付け
間生涯学習センター
☎(3802)2332
◆西日暮里ふれあい館
日3月12日(日)
間西日暮里ふれあい館
☎(3819)6945
◆西尾久ふれあい館
日3月20日(祝)
間西尾久ふれあい館
☎(3810)6219

子ども家庭支援センター4階地域交流室の貸し出しを中止

日4月1日(土)から 内区児童相談所設置準備と児童虐待等の相談対応充実に向けて、執務スペースを拡充するため ※5階地域交流室の貸し出しは継続 間子ども家庭支援センター☎(3805)5523

就学・入学通知書を送付

4月に区立小・中学校に入学予定の方へ、入学予定校等を記載した通知書を1月中旬に送付します。通知書が届かない・記載内容に誤りがある・入学が困難・区立以外の学校に入学する方はご連絡ください。
間学務課☎内線3333

芸術文化イベントの企画を募集

審査の結果、優秀な企画は、区内での実施を支援します。
※実施日は、6月1日(木)～平成30年3月31日(土) (企画者と協議のうえ決定)
内区内在住・在勤・在学の個人を含む団体・個人 内音楽・演劇・美術等(特定団体・個人の発表会・展示会等を除く)

く) 募集要項の配布 町屋文化センター(下記のホームページからもダウンロード可) 締3月31日(金)必着
申ACC ☎(3802)7111
HP <http://www.acc-arakawa.jp>

住民税等の納税窓口を日曜日に臨時開設

日1月22日(日) 時午前9時～午後5時 内住民税・軽自動車税の納付と、納税に関する相談 所・間税務課(区役所2階) ☎内線2334

国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険のお知らせ

◆国民健康保険・後期高齢者医療保険の休日窓口を開設
日1月22日(日) 時午前9時～午後5時 内保険料の納付・相談
◆1月～3月分の各保険料納期限
後期高齢者医療保険料と介護保険料の1月～3月分の納付書は、1月中旬に送付します。
▶1月分…1月31日(火) ▶2月分…2月28日(火) ▶3月分…3月31日(金) ……………
所・間▶国民健康保険・後期高齢者医療保険…国保年金課(区役所1階) ☎内線2386 ▶介護保険…介護保険課(区役所2階) ☎内線2441

講座・催し

マンスリー就職面接会「福祉(介護・保育)施設等で働こう年始面接会」

日1月18日(火) 時▶企業説明会…午後1時30分～2時 ▶就職面接会…午後2時～4時(受け付けは午後1時～3時30分) 所東京芸術センター21階天空劇場(足立区千住1-4-1) ※面接会の参加企業は、1週間程度前にハローワーク足立のホームページ(<http://tokyo-hellowork.jsite.mhlw.go.jp/list/adachi.html/>)に掲載 持履歴書・職務経歴書

職務経歴書 託児 6か月以上の未就学児(定員あり)。申し込みは、1月13日(金)までに足立区就労支援課へ☎(3880)5469
間ハローワーク足立事業所第二部門 ☎(3870)8895

講演会「見逃さないで 脳卒中の前触れを」

日1月14日(土) 時午後2時～4時30分 所日暮里サニーホール
人120人(申込順) 講東京女子医科大学東医療センター脳神経外科医師・萩原信司氏、小関宏和氏
申東京女子医科大学東医療センター脳神経外科
☎(3810)1111内線6136
※(土)・(日)・(祝)等を除く、午前10時～午後5時

通訳ボランティア養成講座

日1月23日(月) 時午後1時30分～4時30分 所区役所6階産業経済部会議室 内区内在住・在勤・在学中、外国語で日常会話ができる方
人24人(申込順) 講立教大学異文化コミュニケーション学部教授・武田珂代子氏 締1月19日(木)
申電話・電子メールで、講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・通訳できる言語を、荒川区国際交流協会事務局(文化交流推進課内)へ☎(3802)3798
✉ bunka@city.arakawa.tokyo.jp

6人制バレーボール審判講習会

日1月29日(日) 時午前10時～午後5時 所汐入東小学校 内区内在住・在勤・在学の方 人60人(申込順) 締1月22日(日)
申荒川区6人制バレーボール連盟・山本☎080(1025)7149

合宿型就労訓練「ワークゼミあらかわ」

日1月24日(火)～27日(金)(3泊4日) 所NPO法人青少年自立援助

センター(福生市福生2351-1)
内区内在住で、現在仕事に就いていないおおむね40歳以下の方 人4人(申込順) 内ハウスクリーニング講座 締1月18日(火)
申わかもの就労サポートデスク ☎(3800)6188

男女共同参画推進講座「私を一番大切に考える」

日1月31日、2月7日・21日の(火)(全3回) 時午前10時～11時30分 内区内在住・在勤の女性
人20人(申込順) 講キャリアコンサルタント・竹内康代氏 所・申アクト21☎(3809)2890

ひざ痛予防講演会

日2月4日(土) 時午後3時～4時30分 所サンパール荒川第2・3集会室 内区内在住・在勤の方
人100人(申込順) 講久富整形外科クリニック院長・久富輔氏
申健康推進課☎内線432

荒川区分譲マンションセミナー

日2月18日(土) 時午後1時30分～4時55分 所区役所3階304・305会議室 内区内の分譲マンション管理組合役員・区分所有者・購入予定者等 人60人(申込順) 内▶第1部…大規模災害に対する備えと建物の耐震対策 ▶第2部…管理組合交流会 講一級建築士・マンション管理士・佐藤稔氏ほか 申防災街づくり推進課☎内線2838

芹洋子 みんなで歌おう

日2月25日(土) 時午後1時～2時30分 所町屋文化センター
人120人(抽選) 講歌手・芹洋子氏 締1月31日(火)必着
申はがきで、イベント名、代表者の住所・電話番号、参加者(2人まで)の氏名(ふりがな)・年齢を、〒116-0002荒川区荒川7-20-1町屋文化センター内ACCへ☎(3802)7111

1月 CATV マイチャンネルあらかわ 番組案内 地デジ11ch (番組内容は変更になる場合があります)

▶こんにちは荒川区 (午前9時・正午・午後6時・9時から各57分)	1日祝～8日(日)	9日祝～15日(日)	16日月～22日(日)	23日月～29日(日)	30日月・31日(火)
▶ウィークリーニュース ▶荒川ころばん体操 ▶休日診療当番医 ▶区からのお知らせ ▶今週のピックアップ ▶荒川区行政ナビ ▶あらまちワイド ▶手話付き放送	新春区長対談「幸福を分かち合うまち 幸福実感都市あらかわを目指して」 ※今週のピックアップ・あらまちワイド・行政ナビなどの放送はありません	国(地)俳句ハイク 国(街)地域防犯の取り組み	NHKコミュニティー・スクールin南千住 街荒川マイスター 街冬の食中毒予防	ドodgeピークリスマス大会 街あらかわ部活応援 街確定申告のお知らせ	鮭の里親事業 街観光ボランティアガイドと行くまちあるきツアー 街特殊詐欺対策
▶あらかわ情報スクエア (午後4時・7時から各57分)	1日祝～8日(日)	9日祝～15日(日)	16日月～22日(日)	23日月～29日(日)	30日月・31日(火)
▶区からのお知らせ ▶映像ピックアップ	日暮里コレクション2016	たんぽぽセンター講演会(高次脳機能障がい・前編)	たんぽぽセンター講演会(高次脳機能障がい・後編)	糖尿病講演会「運動と食事で血糖値をコントロールする(運動の話)」(前編)	糖尿病講演会「運動と食事で血糖値をコントロールする(運動の話)」(後編)
その他の番組	ケーブルテレビの申込み・問合せ ▶東京ケーブルネットワーク荒川サービスステーション ☎0800(123)2600 ▶荒川ケーブルテレビ ☎(3894)3888				

1月15日(日)までの休日診療当番医は、区報平成28年12月21日号または荒川区ホームページをご覧ください

あらかわ区報

発行 荒川区
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3
☎(3802)3111 ㊟(3802)6262
毎月1日・11日・21日
(※5月11日・8月11日・1月11日は休刊です)
7万2000部発行

http://www.city.arakawa.tokyo.jp/
http://www.city.arakawa.tokyo.jp/keitai/

人口

日本人
男女計
外国人
男女計
総人口

97,683人
97,674人
195,357人
8,765人
9,167人
17,932人
213,289人

前月比
前年同月比
前年同月比
前年同月比
前年同月比
前年同月比
前年同月比

6
-16
-10
55
60
115
105

528
538
1,066
514
507
1,021
2,087

日本人のみの世帯
外国人のみの世帯
日本人と外国人の混合世帯
総世帯

100,206世帯
10,294世帯
2,334世帯
112,834世帯

前月比
前年同月比
前年同月比
前年同月比

12
60
20
92

1,173
827
18
2,018

新聞未購読で、あらかわ区報の個別配付を希望する方は、広報課☎内線2133へ(荒川区ホームページからも申し込みます)

R70
古紙の配合率70%再生紙を使用しています。